

2009年度第2回理事会議事要約

日時 2009年6月26日(金)15:00~17:30

場所 森戸記念館 第三会議室

出席者 会長：新井民夫、書面参加3名を含め計23名の理事

議事1 前回議事録確認の件

・4月17日開催の2009年度第1回理事会議事録を承認した。

議事2 前回総務財務委員会議事録確認の件

・5月19日開催の2009年度第1回総務財務委員会議事録を承認した。

議事3 各部会委員会報告の件

1. 事業部会

1) 以下の4件を承認した。

- ① マイクロ生産機械システム専門委員会の委員長交代（→岡崎祐一）の件
- ② メカトロニクス専門委員会の会費改定の件
- ③ 静岡県東部地区精密技術研究会委員長の交代（→相良 誠）の件
- ④ 国際会議共催の件
 - ・ 2009 International Symposium on Micro/Nanomechatronics and Human science And International Micro Robot Maze Contest(2009.11.8-11)（企画責任；福田敏男）
 - ・ The 4th CIRP International Conference on High Performance Cutting(2010.10.24-26)（企画責任；青山藤詞郎）

2) 以下の報告があり了承した。

- ① 2009年度講習会開催計画を見直し、グループ合同企画（新企画）を含め6回開催とした。
合同企画：精密サロン（産業界の技術系経営者を講師とする）
- ② 講習会開催（第336、337回）および準備（第338、339回）状況について
- ③ 2009年秋季大会（神戸大）準備状況
講演申し込み数499件、（学生）ポスターセッション165件
- ④ 2010年春季大会（埼玉大）の準備状況
第1回実行委員会（5/29）を開催、会場の確認等を行った。
- ⑤ 2010年秋：名古屋大学、2011年春：東洋大学（白山）の予定。
- ⑥ ASPEN2009については、アブストラクトの査読を終了、採択件数は286件
：国別分布；日本156、韓国53、中国35、台湾26、香港6、シンガポール5、他5
- ⑦ ICPE（2010.7.27-30、シンガポール）のCall for Paperは8月発行予定。
- ⑧ JABEE担当委員として岩附理事が推薦され承認した。

2. 出版部会

以下の報告があり了承された。

- ① 電子校閲システムの10/1運用開始に向けたWG活動状況が報告された。会員への開始の告知はWeb7/1、会誌7号で行う。
- ② 出版関係の経費節減策：会誌印刷費のコストダウンを進める。
- ③ 各委員会の開催状況および開催予定。

3. 広報・情報部会

1) 基礎講座執筆要綱の改訂について承認した。

2) 以下の報告があり、了承した。

- ① PE誌10月号の広告原稿
- ② 基礎講座「医療福祉工学」「精密測定の歴史」の準備状況
- ③ 学会パンフは今年度は微修正とする。
- ④ Web用語集や電子校閲システムでの投稿方法などについての取り組み
- ⑤ 2007年度講習会テキストの公開
- ⑥ Googleブックについては学術著作権協会の資料により実情が紹介された。

4. 財務委員会

財務委員長より今年度の収支見通しについて厳しい状況が説明され、役員理解と協力の要請があった。各理事から、経費節減に加えて“新しい魅力”となるようなProposalが必要との意見が出された。

5. タスクフォース

各TFより活動状況および今後について報告があった。

- ① TF-1：公益認定に向けた機関設計についての検討状況（国枝主査）
- ② TF-2：時代背景としてのWebととらえ、今後の学会の在り方（経営方法）について議論を深

める（畠山主査）

③ TF-3：制度発足と第1回認定終了。アフィリエイト委員会（山下委員長）の活動（諸貫主査）

④ TF-4：春日主査よりこれまでの検討経緯が述べられた。

⑤ TF-5：専門委員会に関する施策スタートについて（初澤主査）

⑥ TF-6：次回総務財務委員会に提案し議論する予定（渡邊主査）

議 事 4 2009年度役員・評議員選挙関連委員承認の件

選挙管理委員会および候補者推薦委員会の各委員が提案され承認した。合わせて委員会開催日程が示された。

議 事 5 2009年度支部役員および活動計画の件

・ 標題につき出席の支部理事より説明があり、承認した。

議 事 6 賞推薦委員および賞審査委員の件

・ 精密工学会賞の推薦委員会委員および審査委員について承認した。

・ 精密工学会技術賞・技術奨励賞の審査委員会委員について承認した。

議 事 7 その他

1. 表彰・助成推薦の件（資料「理'09-2-7-1」）

「大河内賞」、東レ科学技術賞および東レ科学技術研究助成、金型技術振興財団助成、および文科省の助成について紹介され、広報を行うことおよび推薦の手順について確認した。

2. 会員状況の件

5月の入会：正会員；24名、学生会員；37名、及び賛助；2社を承認し、退会：正会員；4名、学生会員；28名を確認した。

4. その他

支部活動運営費の配賦率については、当面現状のまま進めることを確認した。